



NEWS RELEASE

**「ソチオリンピックで活躍した」アスリートは、  
(男性)羽生結弦、葛西紀明、平野歩夢 (女性)竹内智香、浅田真央、上村愛子  
「夢や感動を与えているアスリート」は、浅田真央、イチロー、羽生結弦  
～アスリートイメージ評価調査 2014年2月ソチオリンピック特別編より～**

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:大森壽郎 以下博報堂DYメディアパートナーズ)は、2014年2月20日から25日にかけて、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:豊田真嗣)、データスタジアム株式会社(本社:東京都世田谷区 社長:加藤善彦)と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」2月ソチオリンピック特別編を行いました。

**注目の調査結果**

「ソチオリンピックで活躍した」男性アスリートは、1位 羽生結弦(フィギュアスケート)(敬称略、以下同) 2位 葛西紀明(スキー<ジャンプ>) 3位 平野歩夢(スノーボード)、女性アスリートは、1位 竹内智香(スノーボード) 2位 浅田真央(フィギュアスケート) 3位 上村愛子(スキー<モーグル>)となり、ソチオリンピックを通じて、結果を出したアスリート、力を出し尽くしたアスリートが上位を占めています。また、「夢や感動を与えている」アスリートは、1位 浅田真央(フィギュアスケート)、2位 イチロー(野球)、3位 羽生結弦(フィギュアスケート)、4位 葛西紀明(スキー<ジャンプ>)、5位 田中将大(野球)となっており、ソチオリンピックの感動がそのまま伝わるようなランキングとなっています。

ソチオリンピックで活躍した 男性アスリート	ソチオリンピックで活躍した 女性アスリート	夢や感動を与えている アスリート
1位 羽生 結弦	1位 竹内 智香	1位 浅田 真央
2位 葛西 紀明	2位 浅田 真央	2位 イチロー
3位 平野 歩夢	3位 上村 愛子	3位 羽生 結弦
4位 渡部 暁斗	4位 高梨 沙羅	4位 葛西 紀明
5位 高橋 大輔	5位 鈴木 明子	5位 田中 将大

お問い合わせ先 : 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

広報室

山崎・藤井・桐明

03-6441-9347

統合コミュニケーションデザインセンター

大足

03-6441-9772

## アスリートイメージ評価調査の解説

### [ソチオリンピック出場アスリート 首都圏地上波の報道量比較]

ソチオリンピック期間中(2014年2/7~2/23)のソチオリンピック出場アスリートの首都圏地上波の報道量(ニホンモニター調べ・速報値)を集計すると、

男性アスリート1位の羽生結弦は、46時間41分、2位の葛西紀明は、38時間34分、3位の高橋大輔は、31時間29分、4位の町田樹は、24時間32分、5位の平野歩夢は、21時間10分。また、女性アスリート1位の浅田真央は、50時間28分、2位の鈴木明子は、25時間9分、3位の村上佳菜子は、19時間37分、4位の高梨沙羅は、14時間22分、5位の上村愛子は、11時間59分となっています。

※浅田真央のソチオリンピック期間中の報道量は、昨年1年間の報道量(63時間11分)に迫る結果となった。

### [イメージ総合ランキング]

イメージ総合ランキング上位は、1位 イチロー(野球)、2位 羽生結弦(フィギュアスケート)、3位 浅田真央(フィギュアスケート)、4位 葛西紀明(スキー<ジャンプ>)、5位 田中将大(野球)となっており、ソチオリンピックでの活躍で大きくイメージアップしたアスリートや長期間にわたって好成績を残しているアスリートがランキングされています。

### [イメージ別ランキング]

「好感がもてる」アスリートは、1位 葛西紀明(スキー<ジャンプ>)、2位 羽生結弦(フィギュアスケート)、3位 竹内智香(スノーボード)、4位 高梨沙羅(スキー<ジャンプ>)、5位 石川佳純(卓球)となっており、ソチオリンピックでの活躍で躍進したアスリートが上位にランクインしています。

「カッコいい」アスリートは、1位 ダルビッシュ有(野球)、2位 イチロー(野球)、3位 本田圭佑(サッカー)、4位 高橋大輔(フィギュアスケート)、5位 錦織圭(テニス)となっており、今年も活躍が期待されるアスリートがランキング上位となっています。

「パワフルな」アスリートは、1位 吉田沙保里(レスリング)、2位 白鵬(大相撲)、3位 田中将大(野球)、4位 北島康介(水泳)、5位 遠藤(大相撲)となっており、実力はもちろんのこと、存在感があるアスリートが上位となっています。

「常にチャレンジ精神を持ち続けている」アスリートは、1位 イチロー(野球)、2位 葛西紀明(スキー<ジャンプ>)、3位 クルム伊達公子(テニス)、4位 本田圭佑(サッカー)、5位 田中将大(野球)となっており、長い間トップとして活躍し、チームを牽引して結果を残したアスリートなどがランクインしています。

「勢いを感じる」アスリートは、1位 羽生結弦(フィギュアスケート)、2位 田中将大(野球)、3位 平野歩夢(スノーボード)、4位 遠藤(大相撲)、5位 高梨沙羅(スキー<ジャンプ>)となっており、ソチオリンピックでの活躍や今後の飛躍的な活躍が期待されるランキングとなっています。

「夢や感動を与えている」アスリートは、1位 浅田真央(フィギュアスケート)、2位 イチロー(野球)、3位 羽生結弦(フィギュアスケート)、4位 葛西紀明(スキー<ジャンプ>)、5位 田中将大(野球)となっており、ソチオリンピックの感動がそのまま伝わるようなランキングとなっています。

## アスリートイメージ評価 ランキング

1) “ソチオリンピックで活躍した”男性アスリートには、「羽生結弦」「葛西紀明」「平野歩夢」

- 1 位: 羽生 結弦(フィギュアスケート)
- 2 位: 葛西 紀明(スキー<ジャンプ>)
- 3 位: 平野 歩夢(スノーボード)
- 4 位: 渡部 暁斗(スキー<ノルディック複合>)
- 5 位: 高橋 大輔(フィギュアスケート)

2) “ソチオリンピックで活躍した”女性アスリートには、「竹内智香」「浅田真央」「上村愛子」

- 1 位: 竹内 智香(スノーボード)
- 2 位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 3 位: 上村 愛子(スキー<モーグル>)
- 4 位: 高梨 沙羅(スキー<ジャンプ>)
- 5 位: 鈴木 明子(フィギュアスケート)

3) イメージ総合ランキング上位は、「イチロー」「羽生結弦」「浅田真央」

- 1 位: イチロー(野球)
- 2 位: 羽生 結弦(フィギュアスケート)
- 3 位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 4 位: 葛西 紀明(スキー<ジャンプ>)
- 5 位: 田中 将大(野球)
- 6 位: 本田 圭佑(サッカー)
- 7 位: 吉田 沙保里(レスリング)
- 8 位: クルム 伊達 公子(テニス)
- 9 位: 北島 康介(水泳)
- 10 位: 高橋 大輔(フィギュアスケート)

4) “好感がもてる”アスリートには、「葛西紀明」「羽生結弦」「竹内智香」

- 1 位: 葛西 紀明(スキー<ジャンプ>)
- 2 位: 羽生 結弦(フィギュアスケート)
- 3 位: 竹内 智香(スノーボード)
- 4 位: 高梨 沙羅(スキー<ジャンプ>)
- 5 位: 石川 佳純(卓球)

5) “カッコいい”アスリートには、「ダルビッシュ有」「イチロー」「本田圭佑」

- 1 位: ダルビッシュ 有(野球)
- 2 位: イチロー(野球)
- 3 位: 本田 圭佑(サッカー)
- 4 位: 高橋 大輔(フィギュアスケート)
- 5 位: 錦織 圭(テニス)

6) “パワフルな”アスリートには、「吉田沙保里」「白鵬」「田中将大」

- 1 位: 吉田 沙保里(レスリング)
- 2 位: 白鵬(大相撲)
- 3 位: 田中 将大(野球)
- 4 位: 北島 康介(水泳)
- 5 位: 遠藤(大相撲)

7) “常にチャレンジ精神を持ち続けている”アスリートには、「イチロー」「葛西紀明」「クルム伊達公子」

- 1 位: イチロー(野球)
- 2 位: 葛西 紀明(スキー<ジャンプ>)
- 3 位: クルム 伊達 公子(テニス)
- 4 位: 本田 圭佑(サッカー)
- 5 位: 田中 将大(野球)

8) “勢いを感じる”アスリートには、「羽生結弦」「田中将大」「平野歩夢」

- 1 位: 羽生 結弦(フィギュアスケート)
- 2 位: 田中 将大(野球)
- 3 位: 平野 歩夢(スノーボード)
- 4 位: 遠藤(大相撲)
- 5 位: 高梨 沙羅(スキー<ジャンプ>)

9) “夢や感動を与えている”アスリートには、「浅田真央」「イチロー」「羽生結弦」

- 1 位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 2 位: イチロー(野球)
- 3 位: 羽生 結弦(フィギュアスケート)
- 4 位: 葛西 紀明(スキー<ジャンプ>)
- 5 位: 田中 将大(野球)

## 調査設計

- ・調査方法: Web 調査
- ・調査地区: 首都圏+京阪神圏  
(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)
- ・調査対象者: 対象エリアに在住の15~69歳の男女
- ・有効回収サンプル数: 600サンプル
- ・調査期間: 2014年2月20日~25日

この調査はCMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、対象アスリートの認知、好意度のほか、博報堂DYメディアパートナーズが独自に構築した29項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。

博報堂DYメディアパートナーズでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価の分析を行ってまいります。